

第1予算特別委員会



第一予算特別委員会

◎審査にあたった委員

委員長 熊田 宏
副委員長 大木 義正
委員 根本 信雄
" 藤井 精七
" 栗崎千代松
" 諸根 重男
" 青山 英樹
" 鈴木 隆司

〈議案第17号〉

平成21年度矢吹町一般会計補正予算(第6号)

本案は、総額を79億7620万4千円とし、6億9937万7千円を減額し、併せて繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正をする。審議後挙手採決の結果、可決すべきものと決しました。

〈議案第26号〉

平成22年度矢吹町国民健康保険特別会計予算

本案は、総額を21億2150万9千円とし、一時借入金限度額及び歳出予算の流用を定める。審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第27号〉

平成22年度矢吹町公共下水道事業特別会計予算

本案は、総額を4億7809万4千円とし、債務負担行為、地方債及び一時借入金限度額を定める。審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第28号〉

平成22年度矢吹町土地造成事業特別会計予算

本案は、総額を1747万9千円とし、一時借入金の限度額を定める。審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第29号〉

平成22年度矢吹町老人保健特別会計

本案は、総額を15万8千円とし、後期高齢者医療特別会計への移行最終清算である。審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第30号〉

平成22年度矢吹町農業集落排水事業特別会計予算

本案は、総額を1億7601万8千円とし、地方債及び一時借入金の限度額を定める。審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第31号〉

平成22年度矢吹町介護保険特別会計予算

本案は、総額を9億7066万

〈議案第32号〉

7千円とし、一時借入金の限度額、歳出予算の流用を定める。審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

平成22年度矢吹町後期高齢者医療特別会計予算
本案は、総額を1億3044万3千円とし、一時借入金限度額を定める。審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第33号〉

平成22年度矢吹町水道事業会計予算

本案は、収益的収入予算総額を4億6106万7千円とし、収益的支出予算総額を4億9192万8千円とする。また、企業債、一時借入金限度額、議会の議決を要する流用経費、たな卸資産の購入限度額を定める。審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

平成22年度の主な新規事業

(単位:千円)

事業名	事業費	内容
サイクリングロード整備	6,000	サイクリングロード整備等
行政区活動支援	3,000	まちづくり活動実施行政区助成金
西側地域里山づくり	1,957	袖ヶ館跡広場整備事業
幼稚園、保育園業務運営検討	157,860	民間認可保育所運営負担金
乳幼児、児童医療費助成	56,338	小学6年生まで医療費無料化
子ども手当	365,637	手当を支給し子育て支援を図る
神田西線道路整備	18,700	測量設計
雇用促進住宅取得	8,660	住宅取得金及び利子の償還
強い農業づくり支援(国事業)	79,300	種場センター機械更新事業
国営かんがい排水限戸川	93,785	限戸川地区償還金
学校給食地場農産物活用	1,780	学校給食に地産地消の推進
定住化促進住宅	9,529	定住化促進住宅維持管理費
地域医療体制の充実	1,260	医療体制の充実に係る負担金
高度情報化推進事業	24,343	地デジ難視地域解消等

第2予算特別委員会



第二予算特別委員会

- ◎審査にあたった委員
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 鈴木 一夫 |
| 副委員長 | 角田 秀明 |
| 委員 | 遠藤 守 |
| 〃 | 棚木 良一 |
| 〃 | 吉田 伸 |
| 〃 | 竹元 孝夫 |

〈議案第18号〉
平成21年度矢吹町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

本案は、総額を19億9104万
円とし、1億3397万4千円を
減額する。

歳入の主な内容は、繰入金及び諸収入を増額し、国庫支出金、療養給付費交付金、県支出金等を減額する。

歳出の主な内容は、諸支出金を増額し、保険給付費、老人保健拠出金、共同事業拠出金、保健事業費等を減額する。

審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第19号〉
平成21年度矢吹町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

本案は、総額を6億8181万
3千円とし、83万4千円を
減額し、地方債を補正する。

歳入の主な内容は、分担金及び負担金を増額し、町債等を減額する。

歳出の主な内容は、総務費を増額し、事業費を減額。

審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第20号〉
平成21年度矢吹町老人保健特別会計補正予算（第2号）

本案は、総額を1263万6千
円とし、100万9千円を減額
する。

歳入の主な内容は、支払基金交付金、国庫支出金、県支出金を減額する。

歳出の主な内容は、医療諸費等を減額する。

審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第21号〉
平成21年度矢吹町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

本案は、総額を1億9546万
4千円とし、56万8千円を
増額する。

歳入の主な内容は、分担金を減額し、繰入金を増額。

歳出の主な内容は、維持管理費を増額。

審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第22号〉
平成21年度矢吹町介護保険特別会計補正予算（第3号）

本案は、総額を9億1202万
3千円とし、2870万円を増額
する。

歳入の主な内容は、国庫支出金等を減額し、保険料、支払基金交付金、県支出金、繰入金を増額。

歳出の主な内容は、総務費、地域支援事業費等を減額し、保険給付費を増額。

審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第23号〉
平成21年度矢吹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

本案は、総額を1億2869万
6千円とし、106万4千円を
減額する。

歳入の主な内容は、後期高齢者医療保険料を増額し、繰入金、諸収入等を減額。

歳出の主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金を増額し、総務費、諸支出金を減額。

審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第24号〉
平成21年度矢吹町水道事業会計補正予算（第3号）

本案は、収益的収入予定額から276万4千円を減額し、収益的収入総額を4億5073万2千円とする。

また、収益的支出予定額を10万2千円増額し、収益的支出総額を4億8807万7千円とする。

主な内容は、収益的収入の内、営業収益を減額、収益的支出の内、営業費用を増額。

審査の結果、異議なく可決すべきものと決しました。

〈議案第25号〉
平成22年度一般会計予算

本案は、総額を59億6900万
円とし、債務負担行為、地方債、一時借入金の限度額及び歳出予算の流用を定める。

昨年度当初予算額と比較して、7.5%の増となる。

審議後挙手採決の結果、可決すべきものと決しました。

第1、第2予算
特別委員会の質疑

総務課

- Q売却した土地の鳥羽山の利用方法は。
- A利用方法については、把握していない。
- Q資材置場、プール跡地の売却計画は。
- A資材置場については、6区画での分譲を計画している。プール跡地については、約700㎡あるが、一括での売却を考えている。財政再建計画の達成見通しもついたため、手放す必要があるのかも検証したい。

保健福祉課

- Qあゆり温泉の工事について、水位が下がってきているとか。
- A下がってきているが、今すぐどうのかわからない。今回はポンプの交換。プールは営業しているので汲

み上げは同量を継続。

- Q生活保護者は何人ぐらい申請者の推移は。
- A概数で140世帯、増えてきています。申請者は多い時で週に5人ぐらい来る。
- Q社会福祉協議会が優遇されていらないか。他の社会福祉法人との公平性が保たれているか疑問である。人事などについても色々風評がある。
- A経費節減のためにも民間委託をしています。委託事業について苦情等があれば調査指導します。
- Q国保の基金について
- A現在620万、今回380万を取り崩す内容です。
- Q新型インフルエンザの流行があったが、国保医療費は下がっている。因果関係は。
- A5月診療分しかこないのので詳しくはつかめない。新型インフルエンザで入院までの重症はないので、19年度が異常に高かったのは終末期医療であると考えられる。

産業振興課

- Q農業災害、昨年の事業未

だ復旧されていないが。

- A発注は済んでおり、受注者を指導します。
- Q強い農業づくり事業、何をやるのか。
- A種場の機器を購入するための補助金です。
- Q雇用促進住宅の利用について、委員会を立ち上げ利用方法について検討することも良い方法である。一部を町営住宅にして低所得者にも配慮し、入居させるようにしてはどうか。
- A財政3力年中であったため、家賃収入を見越して購入した。企業側の従業員入居方法も考えた。

都市建設課

- Q街路灯の設置件数、年間の電気料は。運動公園の計画は。2区のJRと幹線水路間は水が澱んでいる。改修の計画は。
- A設置件数は1800箇所、電気料は、約480万円です。運動公園の今後の計画は、平成22年度企画経営課で方針を出すことになっている。二区行政区からの要望もあり、状況は把握

町民生活課

- Q消防団出初式に出席して感じた事だが、活動服と法被の服装が半々で早期に全団員が統一した服装が出来ないのか。
- A法被も活動服も今年度予算では全員分を満たすことは出来ませんでした。平成22年度予算で法被と活動服のどちらかを優先するか諮ったところ、活動服で意見が統一しましたので、当初予算にその内容を計上いたしました。

上下水道課

- Q議案第8号、第9号は罰則をするものではないですね。それと、水洗便所改造資金の融資斡旋や利子補給事業でも対応するものですか。
- A罰則規定は無く、あくまで勧告までで接続を依頼

学校教育課

- Q各保育園の募集状況をみると希望者に差があるが、今まではあさひとひかりで調整ができたが、今後はどうするのか。
- A申込時に第1〜3までの希望を取っている。状況を見て割り振りをしている。
- Q基本的には選択肢を拡大するとまとまらなくなる。縦割り行政ならでは、うまくできる部分がある。「教育」の問題なので心配している。町の決定権が弱くなれば町民は混乱する。教育は平等に受ける権利がある。「教育」はぶれてはいけない。
- A保育園の運営は、認可であれば規則となる指針で運営されるので、基本的な部分では平等が確保される。